

A4一枚からのFD

中井俊樹

(名古屋大学高等教育研究センター)

長澤多代

(三重大学高等教育創造開発センター・附属図書館研究開発室)

齋藤芳子

(名古屋大学高等教育研究センター)

近田政博

(名古屋大学高等教育研究センター)

小山憲司

(三重大学人文学部・附属図書館研究開発室)

柴田佳寿江

(三重大学附属図書館)

峯 澄子

(三重大学附属図書館)

背景

情報の洪水

- ・高等教育関係の図書やワークショップの増加
- ・重要な情報を選択してアクセスできれば・・・

FDニーズの多様化

- ・キャリアの段階、専門分野、教育環境などに依存
- ・集合研修を補完する個別研修支援が重要に

大学間ネットワークによるFDの推進

- ・各大学の特徴を活かした協力ができるか

パスファインダー Pathfinder (*1)

パスファインダーは、path(小道)とfinder(探索者)を合わせた言葉です。ある特定のトピックに関する情報を系統的に探索する手段をまとめた情報検索ツールのことです。たとえば百科事典、図書、雑誌、年鑑などの情報ソース、検索キーワードとデータベース、図書館の連絡先などが記載されます。1枚のリーフレット形式のものが一般的ですが、ウェブ版のパスファインダーも作成されています。図書館で質問を受けた時に紹介するほか、授業のトピックごとに学生のためのパスファインダーを作成している大学図書館も増えています。

クリエイティブ・コモンズ Creative Commons (*2)

クリエイティブ・コモンズとは、2001年にアメリカで設立された非営利団体の名称であり、またその団体が実施しているプロジェクトのことです。クリエイティブ・コモンズの目的は、インターネット上で著作物を公開、共有する際に障壁になりがちな著作権法による法的問題などを回避して、著作物の自由な活用を促進することです。具体的には、著作物に対して著作権を保持しながら、その使用条件をマークによってわかりやすく表示しています。

構想の契機

FD教材を開発してきた名古屋大学と図書館サービスを活かしたFDを進めてきた三重大学が協力して何かできないか

コンセプトと特徴

A4一枚の手軽なガイド

- ・大学教員は忙しい
- ・パスファインダー(*1)という考え方と方法
- ・特定トピックの情報を系統的に理解し探索できる
- ・集合研修の配布資料と個別研修の教材を兼ねる
- ・在庫を持たずにすぐ印刷して完成

資源の共有化と再利用

- ・大学間で協力しやすい枠組みをつくる
- ・クリエイティブ・コモンズ(*2)という考え方と方法
- ・著作権が障壁とならない共有化の実現
- ・各大学の文脈に応じてカスタマイズできる

できるところから始める

- ・はじめから全体の体系を考えてトピックを選ばない
- ・できるトピックからつくる
- ・市販書籍にしたものはそのダイジェストをまとめる

利用方法

ウェブサイト

- ・2010年3月1日より二大学同時公開
- ・<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/facultyguide/>
- ・<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/edguide/edguide.html>

具体的な利用方法

- ・新任教員研修の配布資料
- ・基礎セミナー担当教員への配布
- ・大学院生対象の大学教員準備プログラムの配布資料
- ・自己研修のための教材

今後の計画

利用者からのフィードバックの収集

新たなトピックの作成と改訂

- ・多人数授業
- ・英語で教える
- ・若手教員のメンターになる
- ・プレスリリースをする

他の大学の賛同者との協力関係

名古屋大学

三重大学

